



# 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月7日

上場会社名 株式会社JMS  
コード番号 7702 URL <https://www.jms.cc/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 桂 龍司  
(氏名) 末田 穰

TEL 082-243-5844

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	52,635	9.6	819	958.7	632	139.6	209	287.1
2024年3月期第3四半期	48,035	2.4	77	△83.6	263	△37.2	54	△58.9

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,064百万円 (△37.4%) 2024年3月期第3四半期 1,699百万円 (△4.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
2025年3月期第3四半期	円 銭 8.55	—
2024年3月期第3四半期	2.21	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年3月期第3四半期	百万円 86,266	百万円 41,406	% 47.8
2024年3月期	84,709	40,747	47.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 41,269百万円 2024年3月期 40,573百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 8.50	円 銭 —	円 銭 8.50	円 銭 17.00
2025年3月期	—	8.50	—		
2025年3月期(予想)				8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	7.2	1,000	—	700	379.5	250	—	10.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	24,733,466 株	2024年3月期	24,733,466 株
2025年3月期3Q	229,627 株	2024年3月期	251,493 株
2025年3月期3Q	24,493,800 株	2024年3月期3Q	24,466,823 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループは、「かけがえない生命のために」の創業精神の下、「医療を必要とする人と支える人の架け橋となり、健康でより豊かな生活に貢献することですべての人々を笑顔にする」ことを目指して、経営の品質と企業価値の向上に努めております。

事業活動としましては、輸液・栄養領域、透析領域、外科治療領域、血液・細胞領域の4つの領域を中心に事業を展開し、製品の開発、生産、販売を進めております。

当第3四半期連結累計期間は、日本国内においては、注力事業として取り組みを進める薬剤調製・投与クローズドシステムの販売が堅調に推移したほか、薬価及び診療報酬改定において、薬価が引き上げられたプレフィルドシリンジ製剤や診療報酬が適用された摂食嚥下関連用品の販売が増加しました。海外においては、主力の血液バッグの販売が増加したほか、AVF針（血液透析用針）の販売も好調に推移しました。また、前期に事業譲受した白血球除去フィルターが売上を伸ばしました。

以上の結果、売上高は、円安による円貨換算額の増加も加わり、前年同四半期に比べ46億円増加の526億35百万円（前年同四半期比9.6%増）となりました。

利益につきましては、原材料費や電力費等の高騰に加え、設備投資に伴う減価償却費の増加はあるものの、主力製品の売上が伸びたことや、前期から進めている価格転嫁などの増収効果により、営業利益は8億19百万円（前年同四半期比958.7%増）となりました。また、為替が不利に働き、為替差損を計上した結果、経常利益は6億32百万円（前年同四半期比139.6%増）となり、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億9百万円（前年同四半期比287.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (日本)

医療用手袋の販売が減少したものの、プレフィルドシリンジ製剤や摂食嚥下関連用品及び薬剤調製・投与クローズドシステムの販売が堅調に推移したほか、中国向けの血液透析装置や、関係会社向けの販売が増加しました。その結果、売上高は349億42百万円（前年同四半期比9.2%増）となりました。また、セグメント利益については、価格転嫁の進展など増収効果により、11億50百万円（前年同四半期比403.7%増）となりました。

#### (シンガポール)

欧州向け成分献血用回路やアフリカ及びアジア向け血液バッグの販売が増加したほか、円安による円貨換算額の増加も加わり、売上高は197億62百万円（前年同四半期比12.0%増）となりました。また、セグメント損益については、増収効果はあるものの、原材料費の高騰や運送費の増加に加え、為替が不利に働き、為替差損を計上したことから、2億55百万円の損失（前年同四半期は1億5百万円の損失）となりました。

#### (中国)

市場成長による需要拡大を受け、AVF針や人工腎臓用血液回路の販売が堅調に推移したことにより、売上高は31億67百万円（前年同四半期比14.3%増）となりました。また、セグメント損益については、原材料費の高騰のほか、設備投資に伴う減価償却費の増加により、7百万円の損失（前年同四半期は51百万円の損失）となりました。

#### (フィリピン)

アジア向け血液バッグや欧州向けAVF針の販売が減少したことにより、売上高は28億53百万円（前年同四半期比1.7%減）となりました。また、セグメント損益については、原材料費や電力費などの高騰のほか、労務費の増加により、2億77百万円の損失（前年同四半期は1億54百万円の損失）となりました。

#### (ドイツ)

欧州向け透析用チェアやAVF針の販売が増加したことにより、売上高は33億28百万円（前年同四半期比11.8%増）となりました。また、セグメント利益については、増収効果はあるものの、人件費の増加により、3億38百万円（前年同四半期比5.1%減）となりました。

(その他)

北米向け翼状針の販売が減少したものの、北米向けのA V F針や中国向け白血球除去フィルターの販売が増加したことなどにより、売上高は37億11百万円（前年同四半期比26.8%増）となり、セグメント損益については2億72百万円の損失（前年同四半期は2百万円の損失）となりました。

## (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ15億57百万円増加の862億66百万円となりました。資産、負債及び純資産の内容は次のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ14億86百万円増加の501億52百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が増加したためであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ70百万円増加の361億14百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産が減少した一方で、投資有価証券の時価評価が増加したためであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ25億27百万円減少の274億1百万円となりました。この主な要因は、短期借入金と1年内返済予定の長期借入金が増加したためであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ34億26百万円増加の174億58百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が増加したためであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ6億58百万円増加の414億6百万円となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定の変動によるものであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.1ポイント低下の47.8%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月7日に公表しました2025年3月期の通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2025年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当該業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,308	8,882
受取手形及び売掛金	18,298	19,581
商品及び製品	9,747	10,538
仕掛品	3,404	3,818
原材料及び貯蔵品	5,974	6,429
その他	961	908
貸倒引当金	△30	△7
流動資産合計	48,665	50,152
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,253	10,080
機械装置及び運搬具（純額）	9,304	9,172
その他（純額）	9,521	9,583
有形固定資産合計	29,079	28,836
無形固定資産		
のれん	315	293
その他	679	638
無形固定資産合計	995	932
投資その他の資産		
投資その他の資産	6,081	6,425
貸倒引当金	△112	△80
投資その他の資産合計	5,968	6,345
固定資産合計	36,043	36,114
資産合計	84,709	86,266

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,774	8,953
短期借入金	6,396	5,130
1年内返済予定の長期借入金	7,966	6,535
未払法人税等	297	340
賞与引当金	1,039	650
その他	5,454	5,791
流動負債合計	29,929	27,401
固定負債		
長期借入金	11,067	14,400
役員退職慰労引当金	167	166
退職給付に係る負債	562	603
資産除去債務	323	340
その他	1,910	1,947
固定負債合計	14,031	17,458
負債合計	43,961	44,860
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,411	7,411
資本剰余金	10,351	10,351
利益剰余金	17,055	16,843
自己株式	△194	△177
株主資本合計	34,623	34,428
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	779	908
為替換算調整勘定	5,169	5,932
その他の包括利益累計額合計	5,949	6,840
非支配株主持分	174	137
純資産合計	40,747	41,406
負債純資産合計	84,709	86,266

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	48,035	52,635
売上原価	37,297	40,527
売上総利益	10,738	12,108
販売費及び一般管理費	10,661	11,288
営業利益	77	819
営業外収益		
受取利息	9	9
受取配当金	47	60
持分法による投資利益	148	117
補助金収入	148	29
その他	132	84
営業外収益合計	486	302
営業外費用		
支払利息	153	249
為替差損	124	156
その他	22	85
営業外費用合計	300	490
経常利益	263	632
特別利益		
固定資産売却益	2	2
特別利益合計	2	2
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産廃棄損	6	24
特別損失合計	6	24
税金等調整前四半期純利益	258	609
法人税、住民税及び事業税	271	456
法人税等調整額	△57	△19
法人税等合計	213	436
四半期純利益	45	173
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9	△36
親会社株主に帰属する四半期純利益	54	209



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	45	173
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	263	128
為替換算調整勘定	1,390	762
その他の包括利益合計	1,654	890
四半期包括利益	1,699	1,064
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,697	1,100
非支配株主に係る四半期包括利益	2	△36

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)2	合計
	日本	シンガ ポール (注)1	中国	フィリ ピン	ドイツ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	29,933	10,781	1,394	22	2,975	45,108	2,927	48,035
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,075	6,861	1,377	2,880	0	13,195	—	13,195
計	32,009	17,643	2,771	2,903	2,976	58,304	2,927	61,231
セグメント利益又は損失(△)	228	△105	△51	△154	357	273	△2	271

(注) 1 「シンガポール」の区分は、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでおります。

2 「その他」の区分は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイの現地法人の事業活動を含んでおります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	273
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△2
セグメント間取引消去	△78
持分法投資利益又は損失(△)	148
その他の調整額	△77
四半期連結損益計算書の経常利益	263

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 2	合計
	日本	シンガ ポール (注) 1	中国	フィリ ピン	ドイツ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	32,256	11,573	1,749	17	3,327	48,924	3,711	52,635
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,686	8,188	1,418	2,836	0	15,129	—	15,129
計	34,942	19,762	3,167	2,853	3,328	64,054	3,711	67,765
セグメント利益又は損失(△)	1,150	△255	△7	△277	338	948	△272	676

(注) 1 「シンガポール」の区分は、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでおります。

2 「その他」の区分は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイ、中国の一部の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	948
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△272
セグメント間取引消去	△191
持分法投資利益又は損失(△)	117
その他の調整額	29
四半期連結損益計算書の経常利益	632

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	2,756百万円	2,898百万円
のれんの償却額	11	27